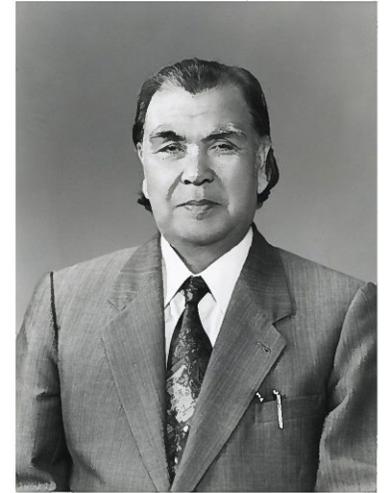


萱野茂生誕100年記念事業
特別展企画案

萱野茂生誕100年記念事業の目的

- 萱野茂（1926-2006）生誕100年を記念し、氏の功績とアイヌ文化への貢献を広く伝える。
- この事業の一環として、博物館・歴史館・資料館を主会場に特別展を行い、茂氏が残した足跡をたどる。
- 茂氏がアイヌ文化の保存・継承に貢献した功績を深く掘り下げる。いまの二風谷・平取町における取り組みの多くに、氏の文化継承への思いが込められていることを示す。
- ただ過去を振り返るだけでなく、茂氏の思いが現在にどのように息づいて、未来にどのように発展していくのかにも注目する。



萱野茂生誕100年記念事業

- 博物館や歴史館等の特別展のみにとどまらない事業として、町や関係機関、関係者全体で盛り上げていきたい。
- 平取町内で毎年行われている既存のイベントも、歴史をたどれば茂氏が深くかかわってきたものが多い。
 - 例) チプサンケ、シシリムカアイヌ文化祭、保存会行事、公社の体験イベント等
- これらのイベントと茂氏の関係をしっかりと認識する機会としてほしい。
- 2026年度はこれらのイベントも、本事業に関連付けて実施できれば良いのではないかな。

特別展について

特別展「萱野茂生誕100年のことばとあゆみ
ーとともに未来へつなぐアイヌ文化」 (仮題)

萱野茂氏生誕100年・没後20年を記念し、その歩みと功績を振り返るとともに、氏の言葉や行動が現在にどう息づいているかを伝えることを目的とする。

沙流川流域や二風谷ならではの視点から、地域に息づくアイヌ文化の継承やあり方を示し、「過去を知る」だけでなく、「文化継承の未来を考える」場とすることを目指す。

特別展について

- 時期：9～11月
- 博物館・歴史館・資料館の3館合同で実施
- その他公共施設をサテライト会場として誘客用のパネルを展示
 - びらとり温泉ゆから
 - アイヌ工芸伝承館ウレシバ
 - ふれあいセンター（本町）

特別展について

メイン会場

(展示スペースを広く活用)

平取町立二風谷アイヌ文化博物館
沙流川歴史館
萱野茂二風谷アイヌ資料館

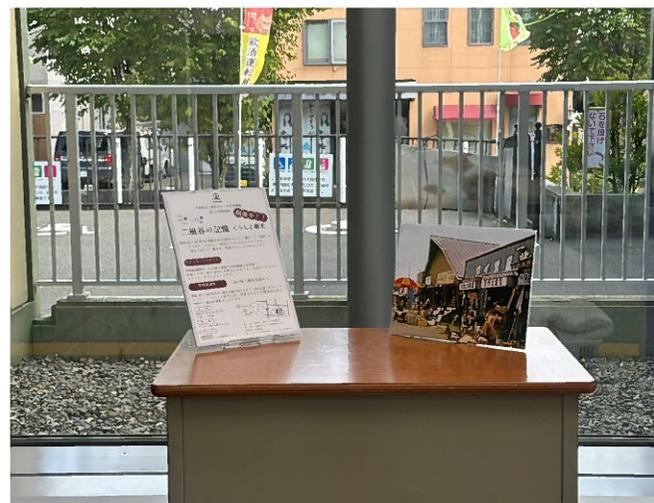


メイン会場の
イメージ
(博物館)

サテライト会場

(施設の一部にパネルを設置。町民・観光客等が多く立ち寄る場に設置し、メイン会場に誘導する)

びらとり温泉ゆから
アイヌ工芸伝承館ウレシパ
ふれあいセンター (本町)



サテライト会場の
イメージ
(ふれあいセン
ター)

展示の方向性

展示を通して目指すもの

- ・ 茂氏の歩みや功績を整理し、伝える
- ・ 茂氏を取り巻く人物相関を整理する
- ・ 過去だけでなく現在と未来にも焦点を当てる
- ・ 地域ならではの視点で伝える
- ・ 茂氏の多様な面を伝える
- ・ 地域に息づくアイヌ文化の豊かさを伝える

ターゲット

- ・ 地域住民
- ・ 町外からの来館者（道内・道外・国外）
- ・ アイヌ文化や歴史に関心を持つ人
- ・ 若い世代
- ・ これからの社会における文化継承を考える人

博物館に来館する様々な立場の人々をターゲットに、幅広く萱野茂氏の取り組みについて伝えていく

展示構成

6テーマ 3メイン会場 (+3サテライト会場)

博物館

- 1 二風谷での暮らし
林業、木彫、暮らし
- 2 アイヌ文化
口承文芸・民具収集、アイヌ語、記録
- 6 萱野茂がまなざした未来
実現していること、これから実現していくこと

資料館

- 3 資料館について
資料館開館の経緯や活動、茂氏の人とのつながり
- 4 国会議員
国会議員時代の活動について

歴史館

- 5 二風谷ダム裁判
経緯、結果など
茂氏の年表